

NDS 環境だより Vol.20

※『環境だより』とは、大阪エヌデーエスの環境への取り組みの一環として、環境について社外に好影響を及ぼすことを目的とし、社員、パートナーの皆様のご家族向けに作成したパンフレットです。

今回のテーマ：

「ニューノーマルな行動変化はあったか」

ここに3年分の「EMSマイecoプラン実行実績表」があります。いつも「記入をお願いします！」と社員の皆様をお願いするばかりで参加人数の多い実行項目がなにか、といったことは分析したことがありませんでした。今回、2019年度、2020年度、2021年度の月平均の参加人数の多い、上位5位を発表します。

<2019年度>

- 1位:33名:プラ、ペットボトルはリサイクルを考慮した分別廃棄をした
- 2位:27名:買い物で不要な包装を断った
- 3位:22名:洗剤などは詰め替え用のあるものを購入した
- 4位:21名:買い物では時々エコバッグを使った
- 5位:14名:買い物には毎回エコバッグを使った

<2020年度>

- 1位:62名:エコバック利用、不要包装削減
- 2位:50名:宅配再配達防止
- 3位:45名:食物ロス減
- 4位:25名:エコドライブ
- 5位:25名:マイ(ボトル,カップ,箸,マスク等々)の利用

<2021年度>

- 1位:68名:エコバック利用、不要包装削減
- 2位:58名:宅配再配達防止
- 3位:54名:暖房/冷房でeco
- 4位:53名:食物ロス減
- 5位:45名:エコドライブ

順位の変動からうかがえるのは、在宅勤務、巣ごもり生活が増えたことによる暖房/冷房でecoの実行増加です。ディスプレイでeco、電化製品でeco、プラごみ削減、水の有効利用も実行増加しています。

順位を落としているのは、マイ(ボトル,カップ,箸,マスク等々)の利用、容器包装廃棄物をスーパーなどへ廃棄です。

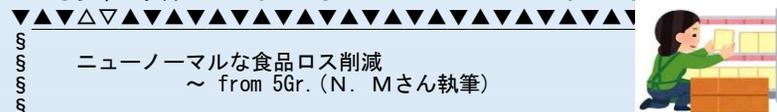
月平均の参加のべ人数が、161人→287人→513人と、全体的に参加人数が増えていることが、うれしいことです。ニューノーマルな行動変化はあったと言い切れます。



EMSジャーナルのコラム紹介

毎月1回発行される社内メールマガジンの『EMSジャーナル』では、社員が持ち回りで寄稿するコラム欄があり、環境に関連するさまざまな話題が掲載されます。そんな『EMSジャーナル』のコラムを、いくつか紹介します。今年度のテーマは「ニューノーマル」「サステナブルな社会へ向けた行動」です。

EMSジャーナル No. 194 21.10.29発行



ニューノーマルな食品ロス削減
～ from 5Gr. (N. Mさん執筆)

皆さん、最近放映されたACジャパンの食品ロスに関するテレビCMを見たことはあるでしょうか？

誰もが一度は目にしたことがあるような、スーパーや家電量販店のセールCMをパロディ風にした内容になっています。また、テレビCM/ラジオCM/新聞広告といった様々なバージョンがあるので、気になった方はどれも面白いのでぜひ見てみてください。

このCMを初めて見たとき、面白いCMだと感じると同時に今まで逆のことをしていたなとハッとしました。というのも、家庭で使用する食材を無駄にしないために賞味期限の長いものを選んだ方が良いと考えていたからです。

このCMについて、ACジャパンのHPには以下の記載がありました。「小売店や企業の問題と捉えられがちな食品ロスですが、私たち消費者が、賞味期限・消費期限の近い商品から購入することでも対策になると訴えます。」

昨今のコロナ禍で、ニューノーマルな今の生活様式というものが出来上がってきつつあると思います。

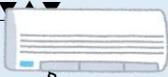
私の場合、外食が減ると同時に在宅時間が増えたことで、計画的に買った食材を計画通りに消費することができるようになりました。

感覚的ではありませんが、コロナ以前よりも、冷蔵庫の中を良く把握できるようになった気がしています。

これまで、「食材を無駄にしないようにする」という動きは様々な場面で耳にし実践してきたつもりです。が、これからは「あえて賞味期限・消費期限に近い商品から購入する」という視点を変えた食品ロス削減を、ニューノーマルにしていきたいと考えます。



S	冷房、除湿の見直しで省エネ
S	～ from 2Gr. (T. Iさん執筆)



感染症の影響で働き方が勤務場所に出勤するものから在宅勤務中心に変更となって二度目の夏がやってきました。近年の夏は猛暑が続いており、自分の体調管理のため、また使用しているPCのため、エアコンの運用が必要不可欠になっております。エアコンを使用しての気温を下げるものとしては冷房と除湿が多くエアコンに搭載されています。これらの特徴と電力使用量という面からどちらを選択するか再確認しましょう。

まず最初に、冷房ですが、部屋の温度を下げることを目的としています。温度を下げる過程で水蒸気が結露となって室外に排出されるので、実は除湿も兼ねています。したがって、短時間で温度、湿度の両方を下げる際に適しています。

一方除湿は、湿度を下げることを目的としています。また、除湿とは二種類存在しています。一つが弱冷房除湿です。これは冷房と同じ仕組みで湿度を下げていますが、あくまで目的は除湿となっているので、弱冷房として運転します。主に湿度を下げたいときに適しております。もう一つが再熱除湿です。これは弱冷房除湿と同様の仕組みで、除湿を行います。除湿後の冷えた空気をエアコン内で再度温めて送風する仕組みとなっています。これにより、梅雨などの湿度は高いものの気温はまだ少し低い等の時に室温を保ったまま除湿が可能です。しかし、空気を再度加熱する都合上、消費電力は一番高くなってしまいます。

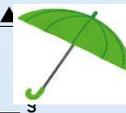
除湿は二種類存在していますが、エアコンによってはリモコンで選択できるものもあります。また、選択できない型の場合は取扱説明書を確認することで判別可能です。

電力使用量に関しては基本的に下記の通りになっております。
※設定温度等の影響で左右する場合があります。
再熱除湿>冷房>弱冷房除湿

今一度夏のエアコンの運用を一度見直し、体調等に影響が出ない範囲で消費電力削減につなげてみてはいかがでしょうか。



S	5Rでより一層のeco
S	～ from 1Gr. (Y. Iさん執筆)



循環型社会を目指し、2000年に循環型社会形成推進基本法が公布されてから早や21年が経ちました。私達にとってもecoプラン活動でお馴染みとなっている3R (Reduce、Reuse、Recycle) ですが、廃棄物を削減する取組みはより一層進めていく必要があると考えられます。一部自治体では3Rに代わって5Rを謳い、一般消費者に対してゴミ削減への呼び掛けをしています。3Rに加わるのは、Refuse (拒絶) とRepair (修理)。5Rの更の上に7R、10R、果ては18Rなどというものもあるそうです。

Refuseはレジ袋や割り箸、スプーン等不要な物は受け取らないというもので、レジ袋は今や定番になりつつあります。先日6月4日に、使い捨てスプーンやストロー等に関する「プラスチック資源循環促進法」が成立し、削減義務化となることから有料化や紙素材の代替品使用などの動きが出てきているのはご存知の通りです。では、もうひとつのRepairの方 (修理して長く使う) は、どうでしょうか？あまり意識できていないということはないでしょうか。

古くは江戸の町では、ものの再生や修理が盛んに行われていたそうです。再生では、江戸中から拾い集められたクズから分別を行い、再生紙や新しい金物、たい肥を作り出していました。修理では専門の職人がいて、鍋や釜の穴の修理を行う「いかけ屋」、割れた陶磁器修理を行う「焼き接ぎ屋」、桶や樽のたがを修理する「たが屋」など、それぞれの分野のプロがいたとのこと。ちょうど今の梅雨時に番が多い傘についても、「古骨買い」が古傘を買い集め、「古傘問屋」が油紙を張り替えて「張替傘」として売られていました。江戸時代の「ものを大切にする、再資源化を徹底する」というスタイルや心がけは学ぶべき点があります。例えば傘の骨が折れてしまったら、その傘はどうしているのでしょうか？修理してもらえる業者はいますが、修理に持って行こうと思いつくことが中々できないということはないでしょうか。調べてみると、傘を修理できる修理キットが、A****で安価で売られているということが判りました。こういったものを利用してDIY修理にチャレンジし、再生させるということもecoに繋がるのではと考えますので、皆さんもいかがでしょうか。

■編集後記 ■afterコロナになるのかと思いきや、withコロナの状況にとどまっています。今年もジャーナルの執筆ありがとうございました。ここに紹介しきれなかった分も含め、寄稿内容は参考にしたいと思わせる珠玉の逸品ぞろいです。次年度も継続して発行しますのでご協力をお願いします。

